

# 介護事業部 ヘルパーセンター 好事例シリーズ⑰

「ご利用者のやる気スイッチを模索し続けたことで、ヘルパーに頼りきりだった活動から、一緒に整理整頓ができるようになった」

～事例分類～

健康状態 / **理解・行動** / ADL /

家事・IADL / QOL / 介護状況

ヘルパーさんとのかかわりが  
どんな変化をもたらしたのか、  
読んでみるまも♪

まもりん



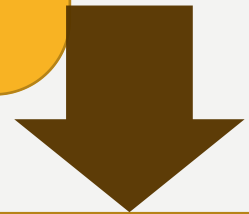
スライド全7枚

## 【事例情報】

○40歳代 ○女性 ○障害区分2

### 【Before】令和元年1月下旬

整理整頓ができず物が溢れ雑然とした室内。物が見つからないと購入して、また物が増えるの繰り返し。台所は常に食器が山積みになっている。生活リズムは乱れ、同居している子ども達にとっても劣悪な環境。やる気が出ないと体調不良を理由にヘルパーをキャンセルしたり、ヘルパー活動中、横になりながらゲームをすることもあり、ヘルパーに頼りきっていた。



### 【After】令和3年6月頃

週2回のヘルパー活動をキャンセルすることがなく、訪問日と通院日が重なった場合はご本人から時間変更を希望するなど、積極的に整理整頓をしようという意欲が見られる。まだまだ整理は必要だが、少しずつ片付いてきている。**相談員とも連携をとりながら支援していることを理解して頂き、「ヘルパーと整理整頓をする」という意識が定着し、毎回ほぼ自立支援の関りから身体介護で算定が可能となった。ご本人の良い変化から、担当ヘルパーの士気も高まった。**




# 経過①


障害要因・背景	サービス・ケア内容	サービス提供のねらい
<p>鬱病・PTSD・ASD傾向と診断されている。疾患もあり、1人での子育ては(夫は別居中)負担が大きく家事が疎かになってしまう。</p>	<p>身体介護・家事援助共に月15時間。ご本人がやりやすい方法を一緒に考え時には提案し、整理整頓を中心に支援した。調理はご本人が行っている。</p>	<p>体調が優れないときは無理をしないように声掛けし、整理整頓の方法は提案しつつ、物の処分は必ずご本人に確認しながら支援した。ご本人との信頼関係を築きながら、病状を理解した上で関わった。</p>
<p>子供達は学校を休みがちで、中学生の子は思春期のため、ご本人も子供との関わりについて悩んでいる。</p>	<p>ご本人と子どもの相談員を別にして支援した。子ども達は子供食堂に誘った。ご本人は精神保健福祉士が担当。相談員が精神保健福祉士とやり取りして連携を図った。サービス提供責任者や相談員が訪問して整理整頓を手伝った。</p>	<p>今現在のご本人の悩み事、生活リズムを整えるための課題（きちんと服薬はできているか）などをアセスメントすると共に、相談員からの情報も得て、ご本人を理解し気持ちに寄り添う。室内の雑然さと依存性が高い状態だが、サービス提供責任者が同行し、先が見えない活動と思っていたヘルパーの負担軽減。</p>



## 経過②

障害要因・背景	サービス・ケア内容	サービス提供のねらい
<p>ご本人は整理整頓はヘルパーにしてもらおうという依存心が強くなっていた。片付けをヘルパーに任せっきりにしたり、活動中ゲームをすることもあった。</p> 	<p>ヘルパー活動中はゲームは禁止（もしゲームをした時点でヘルパーは退室）、ヘルパーの身体介護の活動が出来ない日は、家事援助は長くて1時間になることを説明した。</p>	<p>お話をしてから活動中ゲームをしなくなり、1時間の家事援助が終わるころ、ヘルパーと共に動くようになる。現在殆ど身体2時間の活動になり、毎回意欲的に整理整頓ができています。ご本人から話しもするようになりコミュニケーションをとりながらの活動が可能となり、ヘルパーは苦痛な活動ではなくなった。</p>

# 事例提出者からのアピールポイント

項目	内容
<p>利用者に関わる機関との連携 利用者に寄り添うことの大切さ</p> 	<p>自立支援の関りが可能だと思われたが、身体介護に結び付かないのが課題だった。ヘルパー、関係機関と連携を図り、ご本人へのアプローチを検討。時にはご本人へ厳しいことを話したが、ご本人は介護福祉にかかわる職歴があり、介護について真剣に勉強されていたため、自立支援の大切さ、ご本人と大切なお子様たちの生活の質を向上させる必要性について、理解してくれるのでは？という思いがあった。また、チームでご利用者を見守っていることが伝わったと思う。お子様達の将来を考え、何とか生活環境を見直して欲しいという気持ちは、関係者共通の思いだったはず。今後の課題もヘルパー、他機関と密に連携を取り、ご本人の意欲が継続するように活動していきたい。</p>

## 💡事例へのコメント💡

アピールポイントからは事業所や関係者の熱い思いが伝わりました。

阻害要因・背景に対して、基本的な対応をすることができて良かったと思います。

状況に応じてほどよい支援の調整が必要であり、時に厳しい対応も行う心づもりが支援者に求められますね。

【札幌市社会福祉協議会 地域包括部】



# 私たちと一緒に 働きませんか♪

お友達を紹介して  
ほしいまも

ヘルパー募集のご案内はこちら！



社会福祉法人札幌市社会福祉協議会  
介護事業部



まもりん